

看護部 QC 報告会	岡村美紀	3
熱烈応援 細見直永、楠瀬達也、宮下公将		4
5 病院合同薬剤師業務説明会	筒井由佳	4
受賞報告 吉田剛、岡本莉奈、柴田純季、前田理沙		5
「PTMC」治療、初症例	菅根裕紀	10
高知あんしんネットのご紹介		10

www.chikamori.com ● 高知市大川筋一丁目 1-16 tel. 088-822-5231  
発行●2020年1月25日 発行者●近森正幸 / 事務局●寺田文彦

## 近森病院 総合診療科からお知らせ

### 患者さんを迷子にしないために頑張ります

近森病院 総合診療科 部長 浅羽 宏一

#### 歩いて来られる患者さんを 診る救急外来 (ER)

こんにちは。総合診療科（杉本、浅羽、中山、町野）です。この度、私たちは救急外来（旧名：一般外来）で診療することになりました。ER(救急科)と内科の先生方を助けて、一緒に頑張りますので宜しくお願いします。

救急外来 (ER) では、予約や紹介状を持たずに歩いて来院される患者さん（ウォークイン）や、救急車で搬送される方を診ていますが、私たち総合診療科では前者のウォークイン患者さんを主に診察しています。

#### 総合診療科は何をする診療科？

総合診療科という診療科は「ドクターG」というNHKのバラエティ番組で有名になりました。「ドクターG」は難しい病気を研修医が診断するクイズ形式のような番組でしたので、総合診療科というと、難病・奇病をズバツと診断する名探偵のような医者がいるように思われがちです

が、実際はそうではありません。

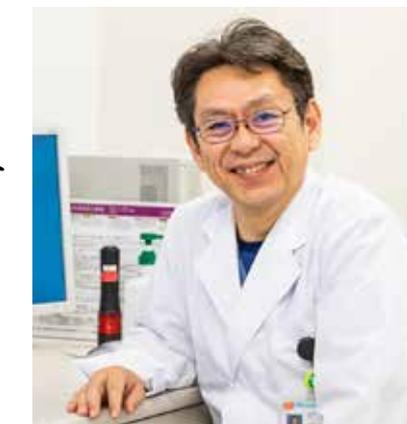
「総合診療科は何をする診療科ですか？」と良く聞かれますが、総合診療科は病院によって役割が違いますので決まった答えはありません。私の子供達が小学生の頃、「お父さんは何科のお医者さんですか？」と聞かれて、何をしている医者なのか答えられずに困ったと最近教えてくれました。

離島の診療所では内科も外科も小児科も産婦人科も何でも診る診療科になりますし、〇〇町の中規模病院では内科全般を診る診療科になり、大学病院では市中病院では診断出来なかった難しい病気を診断する診療科になります。

#### 何科がいいか分からない そんな患者さんを迷子にさせない

では、「近森病院の総合診療科はなにをしているのですか？」と聞かれたら、「救急外来 (ER) では患者さんを迷子にしない診療科です」と答えています。

高血圧、糖尿病、心臓病、腎臓病



など一人で幾つもの病気を抱えている80歳以上の高齢患者さんが多くなりました。そのため、例えば咳で困って病院を受診しようと思っても、肺の病気なのか心臓の病気なのか腎臓の病気なのかを、患者さんご自身やご家族では判断出来ず、結局どの診療科を受診すればいいのか分からず困っていることが増えているように思われます。

救急外来(ER)で診察をしていると、「どの病院の何科に行けばいいのか分からないから取りあえず近森病院に来た」と言うことがよくあります。

#### 頼られる患者さんを適切に

「とりあえず近森に来た」と言う言葉は、患者さんにとって身近で頼りにされている証です。その思いに応えるためにも総合診療科はどの診療科を受診すればいいのか分からず困っている患者さんを適切な診療科へ紹介し、患者さんを迷子にすることなく適切な医療が受けられるように努めていきたいと思えます。

あさば こういち



近森病院・近森リハビリテーション病院・近森オルソリハビリテーション病院からのお知らせ

2/11 (火・祝) は通常どおり診察します

## 認め、認められる風土作りを目指して

近森会グループ看護師長会承認ワーキンググループ  
近森リハビリテーション病院 シニア看護師長 岡部 美枝

昨年度より近森会グループ看護師長会では、看護の質向上・働きやすさの改善を目標に、四つのワーキンググループが活動を始めました。

その一つが承認グループです。人は誰しも、「認められたい」という気持ちを持っていますが、日常の業務の中でそれに応え、「認める」という承認行動は積極的に行えていないものです。そこで、まずは看護師長が認め上手になること、そのための

仕組みづくりを行うことを目標とし活動を開始しました。昨年度は、啓発活動として標語の募集（優秀標語の表彰）、啓発メールやポスター配布、また、看護師長の承認行動の現状調査や毎月の承認活動報告の確認といった活動を行いました。

日常的に承認行動を意識できるような活動を継続し、2年目となる今年度は「Chikamori Good Nurse」として基準を設け、承認する際にポイントシールを付与する仕組みを開始しました。ポイントとして可視化することによって、看護師長とスタッフがお互いに承認行動を認識し、「認

め、認められる」風土につながることを期待しています。

これらの活動を昨年12月の近森会グループ忘年会でMVP賞として表彰していただきました。看護部から始まった「認め、認められる」風土、まだまだ始めたばかりですが、近森会グループ全体に広がるように、活動を続けていきたいと思えます。

おかべ よしえ



## 2月の歳時記

## 福寿草

近森リハビリテーション病院  
作業療法科  
科長 中島 美和



福寿草はキンポウゲ科の多年草で、花言葉は「幸福」「祝福」などがあり、幸せを招くと言われていいます。また、早春を彩るおめでたい花として日本ではおなじみの植物で、八重の黄色い花を咲かせます。福寿草を見ると、松竹梅、南天などと寄せ植え鉢を作っていた実家の祖母を思い出し、懐かしい気持ちになります。

なかじま みわ



## 資格取得

## 脳神経外科専門医、始めました

近森病院 脳神経外科  
近藤 雄一郎



この度、2019年8月22日、23日に行われた専門医認定試験に合格し、脳神経外科専門医を取得しました。学生の頃より脳神経外科医になることを志しておりましたが、最初の関

門を無事クリアできたことに、ひとまず安堵しています。

今後は血管内治療専門医を始めとして、サブスペシャリティの取得に向け、さらなる精進を続けて参ります。

こんどう ゆういちろう

## ● 近森看護学校通信 39 ●

## 最後の臨地実習を終えて

近森病院附属看護学校 教員 田原 佳奈

11月末に3年生は実習の集大成である統合看護実習を終えました。学生達は、今までとは違い、初めて複数の患者さんを受け持たせていただき、これまで以上に短時間で効率よく情報をとることの難しさ、瞬時に判断し行動に移すことの必要性、そして何よりチームの一員として自

分の果たすべき役割と責任の重さを痛感していました。

よりリアルな現場の中に身をおいた学生達の姿は頼もしくもあり、温かく受け入れてくださったスタッフの皆様に感謝すると共に、引き続き学生たちの成長を見守っていただけたらと思います。 たはら かな

## 「患者さんのために」 患者満足・職員満足に繋がる活動の継続

近森オルソリハビリテーション病院  
看護部 シニア看護師長（業務担当） 岡村 美紀



の継続報告がありました。最優秀賞はICUで、「残業時間削減」をテーマとして取り上げ、申し送り方法のマニュアルを改定したことで、時間短縮や患者さんの

QC活動は継続して行くことが大切です。常に「患者さんのために」を考え、患者満足・職員満足に繋がる活動が継続できるよう支援していきたいと思います。

おかむら みき

今年度の看護部 QC 活動報告会は12月21日（土）に開催しました。QC活動とは、品質管理（Quality Control）の頭文字で、病院で働くスタッフが「医療の質・安全・サービス向上をしていく改善活動」です。

今年度は14部署の報告と1部署

状態観察に時間を充てることができました、との報告がありました。

その他の部署も退院支援や業務内容・手順の見直しなどに取り組み成果をあげることができており、とても有意義な報告会であったと思います（結果は表の通り）。



	部署名	テーマ
最優秀賞	ICU	残業削減への取り組み～標準化された申し送り方法の定着を目指して
優秀賞	リハ4階病棟西	QT-P シーズン2～急変対応のプロフェッショナル～
敢闘賞	北館3階病棟	日勤残業時間～閤残業ゼロへ～
継続は力なり賞	救命救急病棟	病棟看護師の災害への知識向上に向けての取り組み

## 出張報告

2019年10月6～13日

### 近森らしさ

初期研修医一年目 梁瀬 瑛蘭



昨年、10月末に、岡山県の倉敷中央病院が主管となって行われた「第7回 VHJ 機構 臨床研修医・指導医交流会」に参加してきました。VHJ 機構に加盟している全国20の民間病院から研修医・指導医が集まって、「れいわ～連携し医療をよくする輪を作ろう！～」というテーマの下、それぞれの病院のいいところや研修医生活について熱く楽しく語り合ってきました。

1年目の4月から救急外来（ER）を受け持たせていただけること、病棟常駐型のコメディカルによるチーム医療体制は、なかなかない恵まれた環境だなぁ、と改めて実感しました。

また、研修医マニュアルや手技コール、全職種合同の接遇研修といった当院ならではのものもあり、今の研修制度を作ってきてくださった先生方や院内の皆様、今までの研修医の

先輩方のおかげで、日々患者さんに向き合える研修を送れていると感じる機会になりました。他にも働き方改革や福利厚生などタイムリーな議題もあり盛り上がりました。願わくは職員旅行を復活していただけたらさらにすばらしい病院になると思います。

やなせ よんらん



# 乞！熱烈応援

## 人との繋がりこそ命



近森病院 脳神経内科  
部長 細見 直永

人が一人でできることには限りがある。これを痛感しつつ、これまで多職種連携・病診連携・医科歯科連携などに取り組んで参りました。私が、2020年より近森病院に勤務させていただくことになりましたのも、多くの方々のご尽力があってこそと感じております。これからも多くの方々力を借りながら、少しでも人の力になれるよう精進して参ります。

ほそみ なおひさ

## 危機管理からリスク管理へ



危機管理室  
室長補佐 楠瀬 達也

今後は「危機管理」に加え、如何に「リスク管理」するかも重要になります。

特に近年地震や大型台風等多発していますが、前部署での経験と知識を活かし、災害拠点病院としてハード・ソフト共万全に備えることが、患者さんや地域の方、職員の身を守ることに繋がりますので、引き続きご指導ご支援の程よろしくお願い致します。

くすのせ たつや

## 剛毅木訥



診療支援部 施設用度課  
課長代理 宮下 公将

短気なところがありますが、少しは落ち着きを持てるようにしたいと思います。それでも慌ただしさは続きそうです、顔が引きつっていたら指摘してください。

時折、休みの日には趣味の釣りをして、リフレッシュしながら頑張ります。

みやした まさゆき

## 5 病院合同で薬剤師業務説明会開催

2019年12月28日

## 「高知の病院で就職してもらおう！」

### 薬剤部 部長 筒井 由佳



2018年に高知医療センターと合同で開催した薬学生を対象としたオープンホスピタルに続き、今年度は高知市の5病院（愛宕病院、国立病院機構 高知病院、高知医療センター、近森病院、細木病院）による薬剤師業務説明会を12月28日に開催し、17名の薬学生（2～5年生）の参加がありました。

高知県の医療と薬剤師を取り巻く状況や高知での就職について先輩薬剤師が語る第一部、各病院が自院の特徴を10分間ずつプレゼンする第二部、各病院のテーブルを薬学生が順番に回り意見交換する第三部で構成した今回の説明会。終了後のアンケートでは「一度に複数病院の特徴を詳しく知ることができた」など、高い

満足度を得ることができました。

また「想像以上に有意義な時間になった」「就職を考える上でとても参考になった」「高知に帰ってこようかなと思える内容であった」等の感想からも、“高知の病院で就職してもらおう”という5病院共通の目標に対し

効果が期待できる説明会になったと感じています。

これからも施設の垣根を超えて協力し合い、薬剤師確保に繋がっていきたく思います。

つつい ゆか



## 受賞報告

第30回日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会  
若手奨励賞

「有痛性ニューロパチーを合併したシェーグレン症候群における、末梢神経超音波検査と表皮内神経線維密度の検討」



## 症状の改善が得られるように

近森病院 リウマチ・膠原病内科 科長 吉田 剛

令和元年12月6日、岡山県医師会館にて第30回日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会が開催されました。その中で私が発表した演題が若手奨励賞を受賞いたしましたので、ご報告させていただきます。演題はシェーグレン症候群の痛みに着目し、治療に直結するデータを提示しております。この受賞を励みに、目の前の患者さんの症状の改善が得られるようにさらなる努力をして参りたいと存じます。

よしだ たけし

日本消化器関連学会週間 (JDDW2019KOBE)  
若手奨励賞

「当院における Fitz-Hugh-Curtis 症候群 (FHCS) 症例の検討 - 腹部造影 CT と尿中抗原検査の有用性を検証する -」



## 消化器内科医への一步

初期研修医二年目 岡本 莉奈

この度、第27回日本消化器関連学会集会で若手奨励賞をいただくことができ、身に余る光栄です。この演題は榮枝先生が長年力を入れてこられた分野でもあります。お忙しいなか何度も時間を割いてご指導して下さいました先生には感謝してもしきれません。

今回の貴重な経験を忘れることなく、これからも一層努力して参りたいと思います。

おかもと りな

第115回日本循環器学会四国地方会  
学生・初期研修医セッション 優秀賞

「原発性体腔液リンパ腫類似リンパ腫による心タンポナーデと推定診断した症例」



▲筆者左、右は菅根医師

## 感謝の気持ち

初期研修医一年目 柴田 純季

この度第115回日本循環器学会四国地方会で発表させていただき、また身に余る賞をいただきました。論文収集やスライドの添削など忙しいなかご指導して下さった菅根先生、予演で様々なご指摘を下さった循環器内科の先生方、発表の機会を与えて下さった川井先生、この疾患に出会えた近森病院に感謝いたします。今後も精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。しばた じゅんき

第121回日本内科学会四国地方会  
研修医奨励賞受賞

「意識障害、ショック、DIC および急性感染性電撃性紫斑病をきたした日本紅斑熱の1例」



## この経験を励みに

初期研修医一年目 前田 理沙

今回12月1日に高松で開催されました、日本内科学会で初期研修医奨励賞をいただきました。とても緊張して質問にうまく答えることができず、落ち込んでいたので、まさか自分がこのような賞をいただけたことにとても驚いています。この経験を励みにまた頑張りたいと思います。忙しいなかご指導下さった消化器内科の田島先生、榮枝先生、本当にありがとうございました。ままだ りさ



国立精神・神経医療研究センター  
神経研究所 疾病研究第一部  
部長 西野一三先生

令和元年12月5日、国立精神神経医療研究センターの西野先生にお越しいただき、近年急速な進歩を遂げている筋炎の分野について、筋病理の立場からご講演をいただきました。

## 筋病理に基づく筋炎の新しい分類

近森病院 リウマチ・膠原病内科  
科長 吉田 剛



筋炎は関節リウマチなどに比べれば馴染みの薄い疾患ですが、当日は内科の先生方に加えて研修医、検査技師、病理や小児科の先生方などから多数のご参加いただきました。

講演内容は筋炎の病理学的な定義、陥りやすいピットフォールから始まり、代表的なサブタイプの解説、そして病理像から想定される将来の治療の方向性についても指摘をいた

できました。この治療のお話は大変示唆に富むものであり、precision medicineを念頭に置いて病理を診るという新しい考え方を提示していただいたものと存じます。

講演会の後は活発な質疑応答があり、盛況のうちに幕を閉じました。本講演会を開催するにあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に深謝申し上げます。 よしだ たけし

### ハッスル研修医

初期研修医一年目の前田理沙です。早いもので近森で働き始めて10カ月が過ぎました。

例えば三年前、医学生だった頃に近森の見学へ来た際、「近森の初期研修は千本ノック方式だ」と案内してくださった先生に言われた言葉を思い出します。その当時は何となしに聞いていましたが、今ではその意味をひしひしと感じる研修を送っています。大変だと思いうことも多々ありますが、どの科

### 充実の研修



に行っても尊敬できる目指すべき先生がたくさんいて、近森で働け

初期研修医 一年目 前田 理沙

ることをとても幸せに思う毎日です。優しい先生方やコメディカルの方々のおかげで、今日までやってこれています。

高知で研修するなら絶対近森！と後輩に胸を張って言える研修を有り難いことに送ることができています。

まだまだ未熟者ですが、これからもご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い致します。

まえだ りさ

### お弁当拝見 79 野菜を彩りよく



四国管財株式会社

濱田さえりさん  
(近森病院 画像診断部 クラーク)



すめです。

はまだ さえり

お弁当は、ほぼ毎日作りますがお昼が楽しみになるように何種類もおかずをつめるのが好きです。お休みの日に作り置きをしますので、朝はご飯を炊いておかずを詰めるだけでとても楽です。彩りよく野菜を使いたいのので杉井流にあるお気に入りの八百屋さんによく行きますが新鮮で珍しい野菜もたくさんあるのでおす

### 何でもフリーコーナー

### ハレとケ、成人式と日常



近森病院附属看護学校2年。上原千奈(左)・万奈(右) お友達を中央に晴れやかな成人式ショット。写真下：学校で勉強中！





## 人生の最終段階における医療とケアに関して 患者さんの相談に適切に対応できる体制を

近森病院 外科 部長 北村 龍彦

▼高知県医療政策課川内課長の挨拶

人生の最終段階における医療に関する患者さんの相談に、適切に対応できる体制を強化するために、厚生労働省は2016年度から神戸大学に委託し、医療・ケアチーム（医師、看護師等）の育成研修を全国8ブロックで開催しています。

2019年度は高知県で開催準備が進められ、12月22日（日曜日）に近森病院管理棟で開催されました。神戸大学緩和支援治療科の木澤義之先生が

中心となり、近森病院のスタッフを含む約20名のファシリテータと110名の受講者が参加しました。

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に則って相談に乗り、必要に応じて関係者の調整を行う相談員を含む医療・ケアチームの育成や、ガイドライン及



び人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）への理解を深めてもらうことで、人生の最終段階における医療・ケアについて、患者さんの意思が尊重される環境整備に資することが目的で、講義とロールプレイやグループワークで、明日からの臨床に活かせる多職種チームによるプロセスアプローチを学びました。この事業の継続の必要性も痛感した研修会でした。

きたむら たつひこ

神戸大学木澤先生（前列左から3人目）、筆者（前列左から4人目）、近森病院山本看護師長（中列左から5人目）、坪井医師（中列右端）



### リレー エッセイ

## 新米パパ一年目

訪問リハビリテーションちかもり

作業療法士 清遠 綾太



2019年10月25日新しい命を授かりました。この瞬間から、新米パパ1年生となった私・・・赤ちゃんをほぼ抱いた事もなく、どのように関わったらいいのかも全然分かりませんでした。

参考として・・・生まれたばかりの赤ちゃんは視力にして0.02程度、3カ月頃から0.1くらいに上がり、立体感や遠近感も備わり、3歳ごろに大人と同じ視力になるようです。聴覚は、お腹の中にいる時からすでに発達しており、生まれた直後にママの声を認識し、8～9ヶ月ごろには自分の名前を呼ばれると振り向くようになるようです。

生後まもなく、愛くるしく感じた

のはしゃっくり・・・授乳後のゲップが起きるタイミングでおこるため背中をトントンたたきました。初めての沐浴では緊張して赤ちゃんも泣くことができました。今は、徐々に慣れて、お風呂の中に浸かることも出来ています。足でキックしたりあくびをしたりと機嫌よく過ごしています。



生まれてから約2か月が経過し、注視・追視が出来るようになり、泣き声だけではなく、笑う事や、ふとした瞬間に「あー」「うー」と声を出すようになり日々成長を感じています。最近では、晴れた日に車でドライブすることが日課になっていますが、当の本人はスヤスヤと眠っています。これからも、「初めての〇〇」を家族で共有していきたいと思います。まだまだ、パパ半人前の私ですが仕事に子育てに一生懸命頑張りたいと思います。

きよとう りょうた

## ニューフェイス

- ①所属②出身地③最終出身校
- ④自己アピールなど



細見 直永

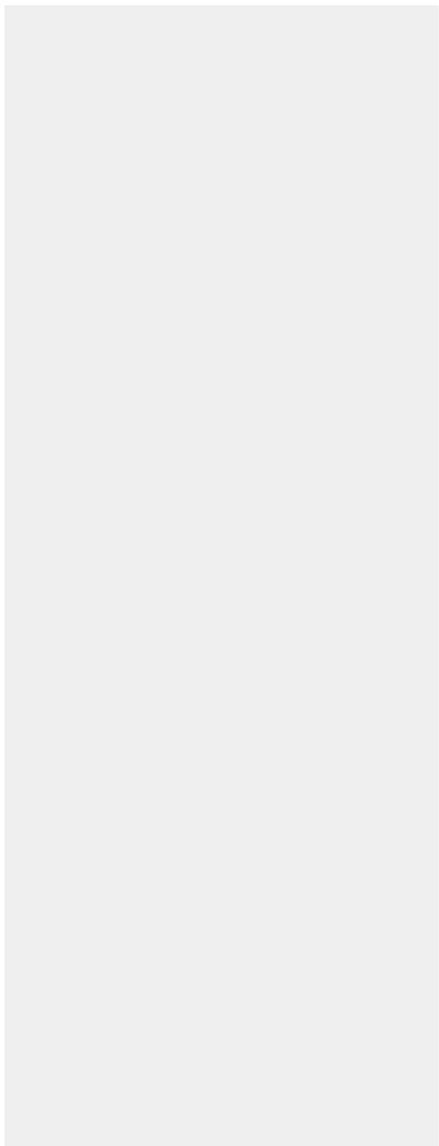
**ほそみ なおひさ** ①脳神経内科部長②神戸市③香川医科大学大学院④高知県の脳卒中死亡率を下げることを目標に、微力ではございますが努力してまいります。ぜひ、皆様のお力をお借りできればと考えております。



東谷 典史

**ひがしだに のりふみ** ①循環器内科医師②高知県③高知大学④久しぶりに高知に帰って来ました。柔道をやっていたので、時間をみつけてまた道場にも顔を出したいです。

### 人の動き 敬称略

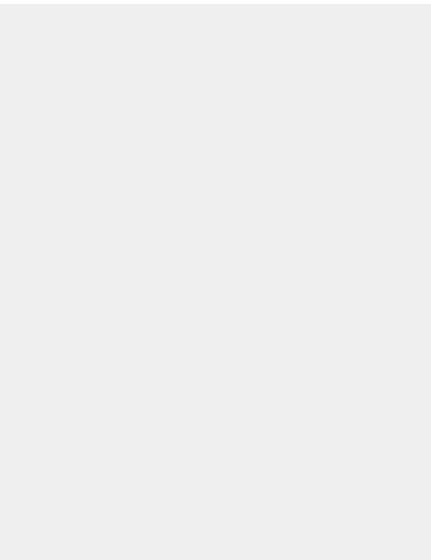


## なんでもフリーコーナー 「門松を手作りで」

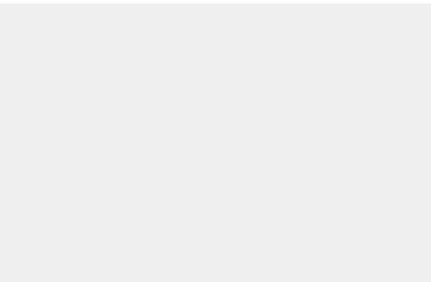
近森病院外来センター正面玄関前の門松は、今回、当院の顧問で麻酔科医の森田潔先生（前 岡山大学学長）と同科杉本健太郎部長代行の手作りでした。



◀ 右から3番目が森田顧問、2番目が杉本部長代行



### おめでとう



### 2019年12月の診療数 システム管理室

<b>近森会グループ</b>	
外来患者数	18,370人
新入院患者数	1,143人
退院患者数	936人
<b>近森病院（急性期）</b>	
平均在院日数	12.34日
地域医療支援病院紹介率	83.40%
地域医療支援病院逆紹介率	319.80%
救急車搬入件数	581件
うち入院件数	329件
手術件数	444件
うち手術室実施	302件
うち全身麻酔件数	204件

● 2019年12月 県外出張件数 ●  
件数 35件 延べ人数 58名

### 編集室通信

昨年末頃に自宅のゲーム機にカラオケソフトがダウンロードされ、新たにマイクも購入したことで我が家ではほぼ毎日カラオケ大会が開催されています。学生時代にカラオケ採点機能で一桁の点数（順位ではなく！！）を取った苦い過去を思い出しつつ、満点取れる日を夢見て子供に教えてもらおう修練の日々を過ごしています。

# 実践知を、羽ばたく原動力に！

▼「手持ちの道具が増えている感覚を味わっています」



## 近森会就職への経緯

高知の老舗の金融機関で実践知を蓄え、役割も得て二十余年。残りの仕事人生を思ったとき、「できることが少しずつ増えていた時の、ワクワクする感じを取り戻したいような…」。安住の地に納得しつつも、もし羽ばたけそうなチャンスが見つければ、勇気を出そう！ 小原さんの昨夏の近森会就職に至る経緯は、こんな風に言えそうだ。

## 自分なりの冒険

いま、いちばんの楽しみは「仕事が少しずつ出来だして、手持ちの道具が増えている感覚！」を味わえること。仕事はやり甲斐のあるものだとし、やり甲斐を感じ続けてきた。それでもシビレるような充実感をもっと…なら、やはり冒険が必要だったのだろう。

## 「医療情報技師」資格に挑戦

慣れ親しんだシステム関連に加えて医療分野の知識も要るが、「医療情報技師」という、合格率3割程度の狭き門に挑戦したのは、この資格の勉強が、今後のプラスにもなると閃いたためだった。

医療問題の分からないことは、転職の際も見守ってくれた看護師の妻に習いながら、2カ月勉強。めでたく合格。妻への感謝は忘れていない。

現在、スタッフ9人の各役割のうちの自分のパートが「やっと見えてきたところ」だが、そのチャレンジ自体が基本的なやり甲斐に繋がっているようだから、きっと充実した毎日なのだろう。

## バイク通学したい！

システム関連の仕事に就く元を辿れば、地元の中学校から高知工業高等専門学校に進学したのがきっかけだった。高知高専は、唯一、3年生からバイク通学が許されていたからだった。「ラジコンがどうやって動くか知りたくらいの感覚」で、電気工学科を選んだ。大学に行ってまで勉強したいとは思わなかったから、卒業して短大卒の資格が得られるというのも、ちょうどだった。

県外へ出たい一心で、兵庫県の三菱系企業に就職。ところが一年弱で

▼ときどき「アッシー君」を頼む長男、撮影



家族の病気のために地元に戻ることになった。4歳上の兄は県外ですでに生活も落ち着いていたために弟が選ばれ、これも円満解決。

帰郷後、高専の恩師を訪ね、老舗の募集の情報を得て、以来、二十余年勤めたのだった。

## マニュアル化の難しい仕事

現在の仕事は、「データ管理や、トラブル解決、また電子カルテのシステム作りなど」といえるが、それらの仕事内容を具体的に言葉にするの

は難しい。マニュアル化しにくい仕事内容であることもまた、この仕事の魅力の一つといえそうだ。

とはいえ、目の前のパソコンの調子がオカシイときは現場に真っ先に駆けつける部署だし、パソコンに向かうスタッフの作業が、できるだけスムーズに進むように目を配るのも大事な役割となっている。

## 平和な休日

生涯の仕事にまで繋がったきっかけのバイクは今でも大好きで、休日に250ccに乗る気持ち良さは、最高の息抜きになっているらしい。

バイクに乗る行為そのものが好きだから、本当は目的地がなくてもいいようなものだが、美味しいラーメン屋さん巡りをしたり、気ままに楽しんでいる。

高校生の子どもたちは勉強熱心で進学校の受験生でもある。塾にも通っているが、ときどきは塾まで数キロの送り迎えを頼まれる。乗る行為が好きなのだから「アッシー君」はむしろ大歓迎でもあるようだ。

妻の買い物の送り迎えも請け負ったことがあるが、妻は宙に浮く乗り心地が苦手だったようで、その点からもそれぞれの休日の「平和」が保障されているみたい。

職員対象 第101回

チカモリ・シネマクラブ

## 近森病院循環器内科で初症例

## 重症僧帽弁狭窄症に対する PTMC\*治療を行いました

\*経皮的僧帽弁交連切開術 (Percutaneous Transvenous Mitral Commissurotomy : PTMC)

近森病院 循環器内科 菅根 裕紀



## 2019年12月26日に初症例

循環器内科では、昨年末の2019年12月26日(木)に当院で初となる経皮的僧帽弁交連切開術 (Percutaneous Transvenous Mitral Commissurotomy : PTMC) を行いました。全身麻酔下で行い、術中・術後にも大きな合併症はなく患者さんも無事元気に退院されました。

PTMC はリウマチ性僧帽弁狭窄症に対するカテーテル治療として、世界中で行われています。日本ではリウマチ熱患者の激減に伴い、リウマチ性僧帽弁狭窄症患者は稀となり、PTMC の実施件数も減少してきていますが、東南アジアなどの発展途上国では今でも数多く行われています。

この手技はイノウエバルーンとい



◀右が細川先生、左が筆者

近年、大動脈弁狭窄症に対する、経カテーテル大動脈弁留置術 (Transcatheter Aortic Valve Implantation : TAVI) など、心臓の弁に対するカテーテル治療が注目されていますが、その元々のコンセプトは、この PTMC から来ています。自分が生まれる前に、現代に通用するデバイスを開発していた、井上先生には尊敬の念を抱くばかりです。

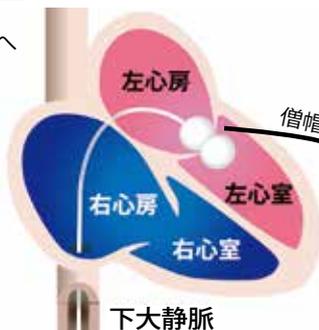
今回、徳島赤十字病院の細川忍先生のご指導のもと、近森病院で初の PTMC を行い、成功させることができました。この高知出身の伝統ある完成された手技をしっかりと身に付け、後世に伝承できるように、今後も精進していきたいと思っております。 すがね ひろき

う、拡張すると中心部がくびれた形になる特徴的なバルーンを使用します。実はこのイノウエバルーンは30年ほど前、旧高知市立市民病院に勤務されていた井上寛治先生によって、高知県内で開発されたという歴史があります。

## PTMC 治療の流れ

♥心臓開胸手術に比べて、患者さんの負担が少ないのが特徴です。

- ①足の静脈から直接心臓へカテーテルを入れる



- ②カテーテルでバルーンという風船のようなものを僧帽弁まで運ぶ  
③バルーンを膨らますことで、僧帽弁が広がり、循環が改善



▲血管造影画像や全身状態を確認しながら、徐々にバルーンを膨らませていく



## 高知あんしんネットのご紹介

「高知あんしんネット」をご存じですか。昨年10月よりスタートした「高知県保健医療介護福祉推進協議会」が運用する、文字どおり医療・介護・福祉の情報を一元化して日々の診療に活かす仕組み作りです。

登録すれば患者さんがかかっている複数の医療機関などで情報共有ができます。近森病院でも1月15日から事前参加のパンフレットの配布を始めました。外来センター1階会計横に臨時

ブースを設置しておりますので、会計終了時に是非資料の確認をお願いします。

詳細については同フロアにて協議会メンバーの方が説明をしています。参加希望の方は同封の同意書に保険情報を記載の上、院内の臨時ポストに投函して下さい。よろしくお願いいたします。

問い合わせ先：  
推進協議会事務局 ☎ 088-802-5052